
とんでもない女！

～ショウカ～

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とんでもない女！

【Nコード】

N5058D

【作者名】

くシヨウカ

【あらすじ】

平凡な男子高校に突然女がやってきて…?!

だい1わ：突然やってきた女

『今日転生校がくる？』

『そうなんだよ　そんでもってそいつ女らしいんだ！まだ見た奴いねえんだがな』

俺は　崎川ワタル　元ヤンキー

んでもって今話し掛けてきたのは　遠山カズヤ

コイツとは中学からの親友でけどコイツには元ヤンキーだってことは伏せている。純粋な奴だから本当のことをすれば…どうなるかわかったもんじゃないからだ

『男子校から共学になったとはいえ…女子がいきなり入ってくるとはな…ウザйнаあ』

『何言つてんだよ！お前は女に興味ねえからそんな冷静なのかもしれないが、他の奴らは女がきて大歓迎で大騒ぎなんだぜ』

そう言うとき遠山はルンルン気分で職員室に向かっていった。

だけど…

これカラ始まるとんでもない日々を送るなんて…誰も思わなかったんだ

「「ガシャーン」」

なんだ??今の音…

教室の隣カラ聞こえてきた音。何の音なのか確かめるために教室を出たワタル。

それを見たワタルは怒りが込み上げていた。

その怒りを呼びよせた原因は・・・噂の女が男子に手を振るい殺しかけていたのだ。

しかも、よく見ると親友の遠出が殺されかけている

『何だよ…これ』殺気だちながら質問するワタル。すると女が口を開き

『ただの喧嘩よ。あっちが私に触れてきたから悪いのよ』と言い放った。

そしてワタルは怒りが頂点にたっし『たったそんだけで殴ったのかよ』と聞き返す。

『まあひとつの理由は…そうね』と女が答えると

『何だと!?!』ついにワタルは怒り爆発!

『このクソ女が!』と言いながら右ストレートを女に当てようとしたが、女はそれをかわして後ろ蹴りをワタルの首にくらわせた!

『!?!?!?!?!ゴホッ……』

ワタルは蹴りをまともにくらい、息ができなくなった。

『ちょっと！ちゃんと最後まで聞きなさいよ！あと一つの理由言っ
てあげるんだから……さ……』

『ゴホッゴホッ……』

ポタポタ

膝立ちをして床に手をあて血を吐くワタル。

『あら……ちょっとやりしぎたわね』口を引きつりながら言う女。

『けど……来年毎日こんな風に成り兼ねないんだから、体を鍛え
とかないとね』男子諸君』

男子みんなは

フオローになつてねー

と心の奥底で思っていた。

『……ゴホッ……なに……どーゆーことだ?……』

ワタルは倒れた自分の体を起こしながら聞いた

『ふゝ生きてたわね、よかったわ（笑）……あら?知らなかったの?

来年からこの学校不良校に代わるのよ』

女は髪の毛を抜きながら一言付け加え…

『いわゆる、ばか学校になるのよ』ニコリと笑いながら言い放った。

『なに?! ばか学校だと!?!』またワタルは怒りながら答えた

『今だってばか学校みたいだしいんじやない?』

『お前マヂむかつく。なんでお前が来年この学校が不良校にかわって知ってんだよ?』少し冷静になりながら言うワタル

『んゝだつて…わたし…来年からココの校長だもの!』

『…はぁー!?!?!?』

男子みんな驚いて大声をだした

『お…お前…若く見えるケドおばさんなのか?!』顔を引きつりながら言うワタル。

『な…なんでそーなのよ?!』目を丸くしながら質問する女。

『だって普通老人が校長とかするだろ？だからお前もババアなんじゃないかと…』

『あ…あんた バツカじゃないの！そーとーの馬鹿ね！なんで嘘つてわからないわけ？マヂでありえない』

『なんだ〜嘘だったのかよ。ならなんで知ってんだよ？』馬鹿と言われてスルーしたワタル。

馬鹿と言われたことよりも、何故知っているのか聞きたかったため突っ掛からなかったのだ。

『（あれ？馬鹿って認めたのかしら…）私は宮田ミヤタ薫カオル名前ですわかるでしょ？何故だか想像つくはずよ。』

『宮田…あ！校長と同じ名字だ！てことは、お前校長の孫？』

『そうよ。だから知ってたの〜。これからアンタ達を鍛えさせて来年不良がきても勝手なことさせないようにせるために来てあげたの！これから死に物狂いで鍛えてやるから！頑張りましょうね』

『はあー？！』

これから俺達は大変な日々を送りそうです。

だい1わ：突然やってきた女（後書き）

続き書くの遅れるかもしれません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5058d/>

とんでもない女！

2011年1月23日02時35分発行